



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,308	17.0	591	47.6	853	114.0	606	94.7
2022年3月期第1四半期	4,535	—	401	—	398	—	311	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 895百万円 (△0.5%) 2022年3月期第1四半期 899百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	43.63	—
2022年3月期第1四半期	22.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,622	26,075	79.9
2022年3月期	31,636	25,478	80.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 26,075百万円 2022年3月期 25,478百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	21.50	29.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	7.50	—	22.00	29.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	5.2	1,870	5.9	1,870	△2.7	1,350	1.3	97.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	14,310,000株	2022年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	409,732株	2022年3月期	409,732株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	13,900,268株	2022年3月期1Q	13,900,308株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州を中心とした世界的なインフレにより金融環境の引き締めをまねいたほか、ウクライナ情勢が長期化の様相を呈しており、それによる資源価格の高騰や物流網の混乱など、先行きに対する不透明感が増してきております。一方、わが国経済は、経済活動が正常化しつつありましたが、急速に円安が進行したことにより輸入物価の高騰による収益悪化が懸念され、経済の回復ペースは鈍化しております。

このような状況の下、当社グループは海外生産の増強、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、東南アジアおよび欧州向けを中心に増加し、当第1四半期連結累計期間の売上高は53億8百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

利益面につきましては、生産性向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は5億9千1百万円（前年同期比47.6%増）となりました。営業外収益として為替差益を2億7千6百万円計上したことなどから経常利益は8億5千3百万円（前年同期比114.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに増加し、海外向けでは自動車関連刃物および鋼管関連刃物が増加したことから、売上高は43億1千万円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益は3億9千万円（前年同期比97.6%増）となりました。

#### ② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は9億7千7百万円（前年同期比37.2%増）、営業利益は1億1千7百万円（前年同期比95.4%増）となりました。

#### ③ 米国

自動車関連刃物が増加したことから、売上高は3億9千4百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は2千5百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### ④ 欧州

自動車関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は6億4千4百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益は6千万円（前年同期比27.9%増）となりました。

#### ⑤ 中国

紙工関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は5億5百万円（前年同期比14.6%増）、中国のゼロコロナ政策による人流・物流の規制により生産活動が停滞した影響もあり、営業損失は1千2百万円（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。

#### ⑥ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物が増加したことから、売上高は2億2千4百万円（前年同期比142.5%増）、営業利益は4千6百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期末における流動資産は188億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が1億8千7百万円増加し、原材料及び貯蔵品が1億8千3百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は137億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千7百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が前連結会計年度末に比べ、4億2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、326億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千6百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期末における流動負債は43億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千3百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が2億8千1百万円減少し、未払法人税等が2億4千万円減少したものの、流動負債その他が6億6千4百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は21億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千6百万円増加いたしました。これは長期借入金が1億4千2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、65億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期末における純資産合計は260億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千6百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が3億2千4百万円増加し、利益剰余金が3億7百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.9%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,164,309	7,309,587
受取手形及び売掛金	3,749,606	3,836,073
電子記録債権	1,025,831	1,044,709
商品及び製品	2,585,540	2,773,509
仕掛品	1,109,956	1,201,147
原材料及び貯蔵品	1,768,995	1,952,459
その他	852,760	753,481
貸倒引当金	△19,838	△24,560
流動資産合計	18,237,163	18,846,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,141,067	4,141,355
機械装置及び運搬具(純額)	4,529,340	4,695,720
その他(純額)	2,984,618	3,220,924
有形固定資産合計	11,655,026	12,058,000
無形固定資産	797,959	835,234
投資その他の資産	946,084	883,221
固定資産合計	13,399,070	13,776,456
資産合計	31,636,234	32,622,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,697,487	1,752,261
電子記録債務	371,857	396,887
未払法人税等	466,924	226,913
賞与引当金	422,235	141,033
その他	1,200,564	1,865,264
流動負債合計	4,159,069	4,382,360
固定負債		
長期借入金	1,223,900	1,366,800
退職給付に係る負債	327,358	334,257
その他	447,164	464,090
固定負債合計	1,998,422	2,165,148
負債合計	6,157,492	6,547,509
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	20,596,898	20,904,526
自己株式	△208,768	△208,768
株主資本合計	24,698,519	25,006,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,943	211,365
為替換算調整勘定	525,832	850,050
退職給付に係る調整累計額	△8,553	7,791
その他の包括利益累計額合計	780,222	1,069,207
純資産合計	25,478,741	26,075,355
負債純資産合計	31,636,234	32,622,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,535,653	5,308,904
売上原価	3,023,808	3,487,971
売上総利益	1,511,845	1,820,932
販売費及び一般管理費	1,110,791	1,229,023
営業利益	401,053	591,908
営業外収益		
受取利息	1,939	1,504
受取配当金	4,676	4,528
為替差益	—	276,227
その他	2,788	6,714
営業外収益合計	9,404	288,975
営業外費用		
支払利息	669	4,616
デリバティブ評価損	2,063	21,482
為替差損	8,753	—
その他	109	1,274
営業外費用合計	11,596	27,373
経常利益	398,861	853,510
特別利益		
固定資産売却益	527	49,285
投資有価証券売却益	—	450
特別利益合計	527	49,735
特別損失		
固定資産売却損	—	19
固定資産除却損	620	1
特別損失合計	620	21
税金等調整前四半期純利益	398,769	903,224
法人税等	87,201	296,740
四半期純利益	311,568	606,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,568	606,484



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	311,568	606,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,775	△51,578
為替換算調整勘定	556,920	324,217
退職給付に係る調整額	1,503	16,345
その他の包括利益合計	588,198	288,984
四半期包括利益	899,766	895,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899,766	895,469
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	979,775	480,192	55,545	132,670	87,730	6,579	1,742,494
精密刃具類	921,869	47,778	12,498	15,855	13,243	3,716	1,014,962
丸鋸類	1,864,740	163,150	246,148	332,246	336,555	81,858	3,024,699
商品他	148,094	21,040	5,321	333	3,695	318	178,804
顧客との契約から生じる収益	3,914,481	712,161	319,513	481,106	441,226	92,473	5,960,961
外部顧客への売上高	2,753,673	460,174	319,448	481,106	227,560	45,450	4,287,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,160,807	251,986	64	—	213,665	47,023	1,673,547
計	3,914,481	712,161	319,513	481,106	441,226	92,473	5,960,961
セグメント利益又は損失(△)	197,485	60,095	24,819	47,235	9,548	△5,043	334,140

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	29,032	1,771,526	△359,324	1,412,201
精密刃具類	11,227	1,026,189	△63,014	963,175
丸鋸類	202,045	3,226,745	△1,130,305	2,096,439
商品他	5,979	184,783	△120,947	63,836
顧客との契約から生じる収益	248,284	6,209,245	△1,673,592	4,535,653
外部顧客への売上高	248,239	4,535,653	—	4,535,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	1,673,592	△1,673,592	—
計	248,284	6,209,245	△1,673,592	4,535,653
セグメント利益又は損失(△)	29,044	363,185	37,867	401,053

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額37,867千円には、セグメント間取引消去41,673千円、棚卸資産の調整額1,671千円、その他△5,477千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	1,075,199	646,863	65,440	206,430	142,230	8,687	2,144,851
精密刃具類	931,491	42,337	15,945	10,330	14,008	2,285	1,016,399
丸鋸類	2,117,363	255,312	307,197	426,809	346,406	213,056	3,666,146
商品他	186,510	32,735	6,105	644	2,929	229	229,154
顧客との契約から生じる収益	4,310,565	977,249	394,688	644,214	505,575	224,259	7,056,552
外部顧客への売上高	3,048,382	577,584	394,639	644,214	239,285	53,458	4,957,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,262,183	399,664	48	—	266,289	170,800	2,098,986
計	4,310,565	977,249	394,688	644,214	505,575	224,259	7,056,552
セグメント利益又は損失(△)	390,301	117,395	25,735	60,408	△12,345	46,019	627,514

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	40,196	2,185,047	△489,096	1,695,950
精密刃具類	9,096	1,025,495	△58,028	967,467
丸鋸類	295,406	3,961,552	△1,391,937	2,569,615
商品他	6,685	235,840	△159,969	75,870
顧客との契約から生じる収益	351,383	7,407,935	△2,099,031	5,308,904
外部顧客への売上高	351,338	5,308,904	—	5,308,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	2,099,031	△2,099,031	—
計	351,383	7,407,935	△2,099,031	5,308,904
セグメント利益又は損失(△)	39,769	667,283	△75,375	591,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△75,375千円には、セグメント間取引消去△23,688千円、棚卸資産の調整額△47,674千円、その他△4,011千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。